

「日々の理科」(第 3978 号) 2025, -6, 28

「高知紀行 (5)」

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka



分岐駅の窪川駅に並んだ列車です。左が私が乗ってきた「特急あしずり 7 号・宿毛行き」、右が予土線の「宇和島行き普通列車」です。



窪川を出て土佐くろしお鉄道に入った列車は、大ループトンネルに入ります。国内では珍しいので、方位磁針を持って見てみました。上越線のトンネルと同じで、トンネルの中で磁針は一周しました！



大ループトンネルを抜けると、列車は一気に高度を下げ、南の海に向かってひた走ります。



天気は今一つでしたが、私が期待していた通りの海岸車窓景観でした。



このあたりの海岸は、すぐに山が迫っているので平地が少なく、鉄道も国道もそのわずかな隙間を「譲り合うように」走っています。国道のほうは、この3日後にレンタカーで走ることになります。



海岸風景が美しかったので、列車の座席で1枚描いておきました。この水彩画のセットも自作で、3Dプリンターで作ったパレットに、透明水彩絵の具を入れて乾かしたものです。蓋で混色できて便利です。



特急列車は定刻に中村駅に着きました。この列車は一日で唯一の「宿毛行き」で、今夜の宿も宿毛駅の近くなので、このまま乗り通したいところなのですが、宿毛にはレンタカーがなく、仕方なく下車しました。



翌日は宿毛市立の中学校にお邪魔しました。いわゆる「出前授業」の為です。同僚が3Dプリンターで開発した天文教材を使つての授業です。中学生は熱心に取り組んでいました。



中村駅は足摺岬に一番近い駅で、駅前からは岬行きのバスも出ています。今回は行く時間がありませんでしたが、次回行ってみたいです。（30年前に一度行きました）



中学校のすぐそばには貯水池があります。そこに首の長い野鳥がいました。一瞬「マナヅル」に見えたのですが、よく見たらちがいました。



この日は宿毛市内のお店で夕食会をしました。一番食べたかったのはもちろんカツオで、非常においしかったです。鯛の名物で、これは最後にいただいた「鯛茶漬け」気絶するほど美味でした！



これは「アオサギ（青鷺）」という野鳥です。水辺を好み、本州や四国では周年で見られます。主に水中の魚や、昆虫類を食べます。長いくちばしで、コイのようなやや大きな魚を突き刺して捕らえることもあります。この日は、単なる休憩中の鳥でした。